

項目（ページ数）	旧〔構想（素案）〕	新〔構想（案）〕
<p>II. 東部地域の現状 3. 東部地域の状況と課題 (P12)</p>	<p>65歳以上の高齢化率は年々増加し、令和27年には桃花台ニュータウンで56.8%と過半数、既存集落地域で46.3%と半数に迫っています。</p> <p>一方で、桃花台ニュータウンと既存集落地域に共通して、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）が著しく減少する見通しです。</p>	<p><u>65歳以上の高齢化率は年々増加し、令和17年には、生産年齢人口（15～64歳）より老年人口（65歳以上）の割合が上回り、令和22年には高齢化率が51.4%と過半数を超える推計となっています。</u></p> <p><u>エリア別の高齢化率を見ると、桃花台ニュータウンは、令和12年に45.4%と過半数に迫り、既存集落でも、令和22年には40%を超える見込みです。</u></p> <p><u>一方で、桃花台ニュータウンと既存集落に共通して、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）が減少していく見通しです。</u></p> <p>図 将来人口見通し（H27 国勢調査データ）を追加</p>
<p>II. 東部地域の現状 3. 東部地域の状況と課題 (P14)</p>	<p>土地の利用状況によると桃花台ニュータウンには住宅が集積し、周辺部の既存集落には田・畑などの農地が多くみられます。</p>	<p>土地の利用状況によると桃花台ニュータウンには住宅が集積し、周辺部の既存集落には田・畑などの農地が多くみられます。</p> <p><u>また、既存集落の周辺は、工業用地としても活用されている状況で、住宅、農業、工業と多様な土地活用がなされていることが東部地域の特徴のひとつと言えます。</u></p> <p><u>既存集落の一部では、製造業、物流業などの進出や産業廃棄物中間処理施設の立地等により産業の活性化が進む一方で、農地や里山の自然が減少しています。</u></p>

項目（ページ数）	旧〔構想（素案）〕	新〔構想（案）〕
II. 東部地域の現状 3. 東部地域の状況と課題 (P15、P16)	—	<p>小牧市防災ガイドブックによると東部地域の一部のエリアで内水、外水氾濫による浸水深が1.0m以上になる想定がされています。さらに、東部地域の北部のエリアでは土砂災害特別警戒区域に指定されている箇所もあります。</p> <p>また、今後発生が想定される濃尾地震や南海トラフ地震においては、建物全壊率が、10%以上と想定されているエリアもあります。</p> <p>近年、全国各地で発生しているゲリラ豪雨等による浸水被害や土砂災害、さらには、今後発生が想定される大地震などの自然災害に対し、地域として備えをしておくことが必要です。</p> <p>図 内水ハザードマップ、図 外水ハザードマップ            図 濃尾地震の危険度マップ（建物全壊分布図）            図 南海トラフ地震の危険度マップ（建物全壊マップ）を追加</p>
II. 東部地域の現状 3. 東部地域の状況と課題 (P17)	東部地域（篠岡）の空き家戸数は166戸と小牧市内で最多となっています。	<p>東部地域（篠岡）の空家等数は166戸と小牧市内で最多となっています。</p> <p>また、空家等の分布を見ると、特定のエリアに集中しているのではなく、東部地域全体に分散して存在していることが分かります。</p> <p>図 地域別空家等分布図を追加</p>

項目（ページ数）	旧〔構想（素案）〕	新〔構想（案）〕
II. 東部地域の現状 3. 東部地域の状況と課題 (P18)	都市計画道路は桃花台ニュータウンを中心に整備が進んでいます。	都市計画道路は桃花台ニュータウンを中心に整備が進んでいます。 <u>しかしながら、周辺の既存集落においては、整備が進んでいない箇所が存在しています。</u> <u>身近な生活道路などについては、歩行者や自転車が安全に通行できるよう生活環境に配慮した人にやさしい道路の整備を進めています。</u>
II. 東部地域の現状 3. 東部地域の状況と課題 (P20、P21)	—	<b>【市内の農家数】、【東部地域の農家数】、【農業出荷額（市内全域）】のデータを追加</b>
II. 東部地域の現状 3. 東部地域の状況と課題 (P22)	桃花台ニュータウンには、中心部に大規模商業施設が立地しています。既存集落地域には2ヶ所の工業団地があるなど、働く場の確保にもつながっています。	<u>桃花台ニュータウンは、ワンセンター方式で整備されたことから、中心部に大規模商業施設が立地しています。</u> <u>また、小牧東インターチェンジがある地の利を活かし、既存集落では2ヶ所の工業団地に企業が進出し、工業団地の別のエリアには、物流拠点が建設されるなどにより、事業所数・従業員数ともに増加傾向となり、働く場の確保にもつながっています。</u> <b>【事業所数】、【従業者数】のデータを追加</b>
III. 将来像とビジョン 1. 小牧市民憲章と小牧市まちづくり推進計画におけるビジョン（P23、P24）	—	<b>小牧市民憲章と小牧市まちづくり推進計画におけるビジョンを追加</b>

項目（ページ数）	旧〔構想（素案）〕	新〔構想（案）〕
Ⅲ. 将来像とビジョン 2. まちづくり5原則【一体性】（P25）	桃花台ニュータウン、既存集落などの複数あるコミュニティが連携・融合した取組を意識してまちづくりを進めていきます。	桃花台ニュータウン、既存集落、 <u>農業、商工業</u> などの複数あるコミュニティが連携・融合した取組を意識してまちづくりを進めていきます。
Ⅲ. 将来像とビジョン 3. 東部地域の将来像（P26）	豊かな自然と快適な住環境のなかで、人がつながり、支え合い、チャレンジし続けるまち	<u>“人がつながり、支え合い、チャレンジし続けるまち”</u> ～豊かな自然、快適な住環境と多様な産業が共存するまちづくり～  説明文を修正 【図】の追加

項目（ページ数）	旧〔構想（素案）〕	新〔構想（案）〕
Ⅲ. 将来像とビジョン 4. ビジョンと基盤 (P27)	<p>まちの将来像（基本理念）に掲げる理想のまちを実現するために、次の3つのビジョンを定め、基盤で示す体制の構築によりまちづくりを進めていきます。</p>	<p><u>東部地域の将来像で示すとおり、この東部地域には豊かな自然、快適な住環境、多様な産業というまちづくりにつながる多くの魅力があふれた地域です。</u></p> <p><u>今後は、地域を取り巻く人たちが将来にわたって、この東部地域とともに歩みつづけられるように、地域住民、事業者、行政などの関係者が連携・協力し、東部地域の魅力を活かしながら持続的に発展していくまちづくりが期待されます。</u></p> <p><u>そのため、東部地域の将来像（基本理念）に掲げる理想のまちの実現に向け、居住者、就業者、来訪者や転入者などまちづくりの中心となる「人」に焦点をあてた次の3つのビジョンを定め、基盤で示す体制の構築によりまちづくりを進めていきます。</u></p>
Ⅲ. 将来像とビジョン 4. ビジョンと基盤 (P27)	<p>多様な人が暮らし続けられる環境の整備</p>	<p><u>多様な人が暮らし続けられるまち 《対象：居住者》</u></p>

項目（ページ数）	旧〔構想（素案）〕	新〔構想（案）〕
Ⅲ. 将来像とビジョン 4. ビジョンと基盤 (P28)	多様な職業が共存し、持続できる環境の整備	<u>多様な職業が共存し、持続できるまち 《対象：就業者》</u>
Ⅲ. 将来像とビジョン 4. ビジョンと基盤 (P28)	<p>訪れたい、住みたい魅力の創造</p> <p>若い世代や子育て世代の転入促進を図るには、この東部地域を知ってもらい、訪れてもらい、住んでみたいと思ってもらう必要があります。</p> <p>そして、この東部地域には、桃、ぶどうをはじめとする特産品や豊富な自然などの観光資源など多くの地域資源が存在するほか、空き家など創意工夫により活用の可能性が広がる隠れた地域資源もあります。</p> <p>これらの地域資源の活用促進や発展、またそうした取組に加え、新たな住民を受け入れる雰囲気醸成するなど、この東部地域の魅力を高め、発信していくことで、この東部地域を魅力あるまちに創造していくことを目指すものです。</p>	<p><u>訪れたい、住みたい魅力のあるまち 《対象：来訪者・転入》</u></p> <p><u>東部地域には、田園や里山などの豊富な自然、子育てに適した都市インフラと支援体制や農業、商工業など様々な特色ある産業のほか、桃やぶどうといった東部地域を象徴する特産品など多くの魅力を存在しています。</u></p> <p><u>若年世代の転入促進を図るため、このような魅力の発信を行うとともに、発展し続けるまちとするため、桃などの特産品を活用した取組や空き家などの隠れた地域資源を活かす取組などを進めることも必要です。またそうした取組に加え、新たな住民を受け入れる雰囲気を醸成し、まちを楽しむイベントの創出など、住みたい環境をつくり、「モノ」「ヒト」「コト」の魅力を向上することで、この東部地域が今より魅力あるまちに創造していくことを目指すものです。</u></p>

項目（ページ数）	旧〔構想（素案）〕	新〔構想（案）〕
Ⅲ. 将来像とビジョン 4. ビジョンと基盤 (P29)	<p>また、人口減少・少子高齢化が進行するなか、住民サービスの維持に向け、より効率的かつ効果的な行政運営を求められており、民間の資金や技術などを活用し「ヒト、モノ、カネ」が地域内で回る地域マネジメントの考えが取り入れていく必要があります。</p> <p>このことから、東部地域のまちづくりを担う、まちを育む体制を構築するため、以下の主に2つの方向に沿って体制づくりを進めます。</p>	<p>また、人口減少・少子高齢化が進行するなか、住民サービスの維持に向け、より効率的かつ効果的な行政運営を求められており、民間の資金や技術などを活用し「ヒト、モノ、カネ」が地域内で回る地域マネジメントの考えを取り入れていく必要があります。</p> <p><u>住民主体のまちづくりを進めるための環境づくりには、行政が担う役割も重要です。イベントなどに活用できるように公共空間の利活用に係る自由度を拡大したり、取組に係る許認可や関連法規等に関する情報提供や相談支援、法令に準拠した新たな制度づくりなど、行政にしかできない分野へのサポートを行っていくことが求められます。</u></p> <p>これらのことから、東部地域のまちづくりを担う、まちを育む体制を構築するため、以下の主に2つの方向に沿って体制づくりを進めます。</p>
Ⅲ. まちの将来像とビジョン 4. ビジョンと基盤 2. 中間支援組織の活用・育成 (P30)	<p>中間支援組織を活用することでプラットフォームの効率的・継続的な運営体制を構築します。中間支援組織には、市民と市民、市民と行政などの間に立って、コーディネート役としての機能や地域の活動・市民活動などの情報収集・提供に努め、情報共有や人的ネットワークづくりを牽引していくことを想定します。</p>	<p><u>住民主体のまちづくりを効率的・継続的に進めるため、将来的には、中間支援組織を活用することを検討します。中間支援組織には、まちづくりに関わる様々な主体の間に立ち各主体が活動や取組を円滑に進められるようにし、地域の活動・市民活動などの情報収集、提供に努め、情報共有や人的ネットワークづくりを牽引していくことを想定します。</u></p>

項目（ページ数）	旧〔構想（素案）〕	新〔構想（案）〕
<p>IV. 取組方針 地域資源 地域資源の保全、魅力向上 及び発信の強化</p> <p>■小牧で実施している取組 新たな地域特産物の発掘 《こまきゴールド（桃）》 【市内農家】（P46）</p>	<p>「こまきゴールド」は、小牧市上末の桃生産者の桃園で発見された新品種。平成30年1月に農林水産省に登録を出願。数年間の経過観察を経て変異なく安定して生産できると認定されれば登録となる。新たな地域特産物となることが期待されている。</p>	<p>「こまきゴールド」は、小牧市（上末）の桃生産者の桃園で発見された新品種。平成30年1月に農林水産省に登録を出願。数年間の経過観察を経て変異なく安定して生産できると認定されれば登録となる。新たな地域特産物となることが期待されている。</p>
<p>IV. 取組方針 地域資源 地域資源の保全、魅力向上 及び発信の強化</p> <p>■小牧で実施している取組 名古屋コーチンプロジェクト【小牧商工会議所】 （P46）</p>	<p>小牧市から始まった名古屋コーチンという地域資源を最大限に活用し、「小牧市は名古屋コーチン発祥の地」として、観光振興・事業者振興に取り組んでいる。愛知県内でも減少傾向にある養鶏業者も、小牧市では若い後継者により引き継がれている。</p>	<p>小牧市（池之内）から始まった名古屋コーチンという地域資源を最大限に活用し、「名古屋コーチン発祥の地」として、観光振興・事業者振興に取り組んでいる。愛知県内でも減少傾向にある養鶏業者も、小牧市では若い後継者により引き継がれている。</p>
<p>IV. 取組方針 住まい 若年世代も住みたくなる住 まいの創出</p> <p>1. 既存住宅を活用した新 たな住宅供給（P47）</p>	<p>世帯分離による子ども世代や転入希望者の居住の受け皿として、空き家の流通を促進します。子ども世帯の同居・近居を促進するための支援を行います。</p> <p>また、居住者のライフステージの変化や多様化するライフスタイルに対応したフレキシブルな住まい方を実現するため、戸建て及び集合住宅の在り方について検討を進めます。</p>	<p>世帯分離による子ども世代や転入希望者の居住の受け皿として、空き家・空き部屋の流通を促進します。子ども世帯の同居・近居を促進するための支援を行います。</p> <p>また、居住者のライフステージの変化や多様化するライフスタイルに対応したフレキシブルな住まい方を実現するため、戸建て及び集合住宅の在り方について検討を進めます。</p>



項目（ページ数）	旧〔構想（素案）〕	新〔構想（案）〕
<p>IV. 取組方針 住まい 若年世代も住みたくなる住 まいの創出</p> <p>2. 安全・安心な住環境の 整備（P47）</p>	<p>公園や緑道の維持管理や通学時の安全確保、子ども の一時預かり、子育て世代の交流機会の確保など、子 どもを安心して育てられる環境づくりを進めます。</p>	<p>公園や緑道の維持管理や通学時の安全確保、子ども の一時預かり、子育て世代の交流機会の確保など、子 どもを安心して育てられる環境づくりを進めます。</p> <p><u>また、近年、日本各地で頻発するゲリラ豪雨による土 砂災害や、発生が危惧される大地震などの発生に備え、 地域での防災訓練を引き続き進めるなど、住民同士で危 機管理への意識を共有し、いざという時に助け合える環 境を目指します。</u></p>
<p>IV. 取組方針 住まい 若年世代も住みたくなる住 まいの創出</p> <p>■小牧市で実施している取 組（P48）</p>	<p>●住まいのよろず相談【住民】 空き家の発生抑制のため、桃花台ニュータウンの中心 部にある商業施設ピアールにおいて 定期的に相談会を 実施。</p>	<p>●<u>空き家予防活動（セミナー・住まいのよろず相談）【市 民活動団体（住民）</u></p> <p><u>市民活動団体である桃花台を考える会では、空き家の 発生抑制のため、住民等を対象に自分が住む家を空き家 にしないためのセミナーを開催したり、桃花台ニュータ ウンの中心部にある商業施設ピアールにおいて 定期的 に<u>空き家の相談会</u>を実施。</u></p>

項目（ページ数）	旧〔構想（素案）〕	新〔構想（案）〕
V. 構想の体系（まとめ） （P51）	<p>豊かな自然と快適な住環境のなかで、 人がつながり、支え合い、チャレンジし続けるまち</p> <p>ヴィジョン</p> <p>1. 多様な人が暮らし続けられる環境の整備 《対象：居住者》</p> <p>2. 多様な職業が共存し、持続できる環境の整備 《対象：就業者》</p> <p>3. 訪れたいくなる、住みたいくなる魅力の創造 《来訪者・転入者》</p>	<p><u>“人がつながり、支え合い、チャレンジし続けるまち”～豊かな自然、快適な住環境と多様な産業が共存するまちづくり～</u></p> <p>ヴィジョン</p> <p><u>1. 多様な人が暮らし続けられるまち 《対象：居住者》</u></p> <p><u>2. 多様な職業が共存し、持続できるまち 《対象：就業者》</u></p> <p><u>3. 訪れたいくなる、住みたいくなる魅力のあるまち 《対象：来訪者・転入》</u></p>
VI. 計画の進め方 3. 指標 1. KPI（重要業績評価指標）の設定（P54）	<p>10年後の東部地域を見据え、成果指標として、次のとおり、KPI（重要業績評価指標）を設定します。目標値は5年後の令和8年度と10年後の令和13年度で設定します。</p>	<p>10年後の東部地域を見据え、成果指標として、次のとおり、KPI（重要業績評価指標）を設定します。目標値は5年後の令和8年度と10年後の令和13年度で設定します。</p> <p><u>設定する目標値は、令和8年度については12ページの将来人口見通しで示す令和7年推計値の53.0%を1%上昇させることとします。令和13年度については、令和12年推計値の48.7%を2%上昇させることとします。</u></p>

項目（ページ数）	旧〔構想（素案）〕	新〔構想（案）〕
	生産年齢人口割合 基準値（H27）63.4% 目標値（R8年）— 目標値（R13年）—	生産年齢人口割合 基準値（H27）63.4% 目標値（R8年） <u>54.0%</u> 目標値（R13年） <u>50.7%</u>
VI. 計画の進め方 3. 指標 2. KPIの達成に向けたヴァイジョンごとの参考指標（P55）	交流 桃花台まつりの参加者数  基準値（基準年）— 目指す方向（R13）↗	交流 プラットフォームによる交流イベント回数  基準値（基準年）= <u>—</u> 目指す方向（R13）↗
VI. 計画の進め方 3. 指標 2. KPIの達成に向けたヴァイジョンごとの参考指標（P55）	住まい 戸建て空き家数  基準値（基準年）166棟（R2） 目指す方向（R13）↘  測定方法 空家等実態調査の結果により算出します。	住まい 戸建て空き家数  基準値（基準年）166棟（R2） 目指す方向（R13）→  <u>備考（測定方法等）</u> 空家等実態調査の結果により算出します。 <u>小牧市空家等対策計画-令和4年度～令和13年度-では空き家数は上昇するが推計値より抑制することを目指しています。本計画においても流通・予防することで件数の上昇を抑制することとしています。</u>